

広島県鉄構工業会・青年部会

50周年式典で未来宣言

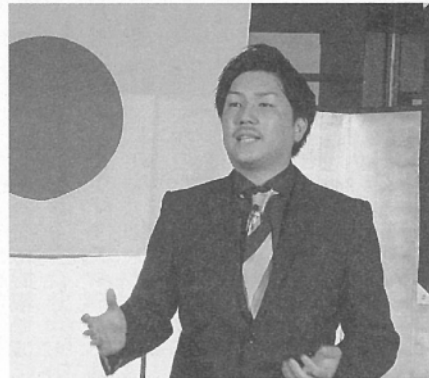
「鉄骨業界の望ましい姿」

広島県鉄構工業会（理事長 山本泰徳・ステントス社長）が5月25日に開催した創立50周年記念式典で、同青年部会（会長 遠藤健太・遠藤工業専務）会員らが壇上に上がり、声高らかに「未来宣言」を発表した。遠藤会長は「私たちはこ

れから先10年・20年後もこの業界で生きていく覚悟を持ち、広島県の鉄骨業界の望ましい姿を目標に掲げることを宣言する」と述べた。

具体的には、①鉄骨製作という仕事が生産に果たす重要な役割を自覚し、「モ

ノづくり」の楽しさに自信と誇りを持ち貢献する（技術ノウハウの共有やファブのイメージアップなど）②新しい技術や機械を導入し、若者や女性活躍でき、未来が明るい業界にする（職場のイメージを一新、新しい3K「き



遠藤会長が「未来宣言」

さまざまな「広島県方式」を導入し、仲間の絆をより深め、一致団結して、これからわれわれを待ち受ける未来に勇気をもって挑戦する（広島方式 現場の技術的課題について自ら研究開発して解決する取り組み）の3項目を発表した。

ニューズフラッシュ



青年会員らが壇上で声高らかに発表